

ビジネス ピックアップ (有)スタジオ・シンフォニカ

ユニークな取り組みをしている
元気な企業を紹介

札幌市西区発寒6条12丁目4-44

TEL 011-215-6400 <http://sinfonica.co.jp/>

音楽スタジオ付き賃貸アパートで常に満室経営 「北海道の音楽文化のために寄与したい」



音楽スタジオ付き賃貸アパートを経営し、常に満室経営を行っているのが(有)スタジオ・シンフォニカだ。

同社代表の畠中秀幸氏は一級建築士兼音楽プロデューサー。自らもフルートを演奏し、高校生になるまでは音楽家を目指していた。転機が訪れたのは、高校の修学旅行で京都に行ったときのこと。龍安寺を見学したとき、空間の図式に沈黙の音楽を感じたのです。多

様なものがあるのに一体感があり、まとまっているのです。それで、京都で勉強しました」という(畠中社長)。

高校卒業後は京都大学に入学。その後大学院を経て札幌に帰ってきた。「札幌に戻って気が付いたことは、練習環境に恵まれない若手音楽家が多いこと。プロでもスタジオを借りられなくて、カラオケボックスに行つて楽器の練習をしていました」と畠中社長は真剣な眼差しで話す。

そこで、四年前に自分で借金をして音楽家用のアパート「シンフォニカ・スクエア」を建てることにした。通常は車庫スペースとなる一階部分にスタジオを二部屋造った。建設途中にはプロを招いて試しに演奏してもら

い、音響に合わせて床にタイルカーペットを貼ったり、天井に格子状の木をはめ込むなど工夫を凝らした。

アパート完成後の反響は大きかった。プロ・アマを問わず入居希望者がすぐに集まり、八部屋はすぐ満室になった。入居者からは「楽器を寒い屋外に出して移動をすると、今まではスタジオに着いたあとも楽器と体を温めるのが大変だった」「いつでも練習ができる」など、評判は上々だ。現在も空室待ちの入居希望者が複数いるという。

畠中社長は「アパート収入の一部は、若手音楽家のプロジェクトにまわしています。これからも北海道の音楽文化のために寄与したい」と意気まんまいる。